

事業名 CD	まちおこし推進事業		
細分化した事業名	サッカーのまちづくりプロジェクト事業		
事業担当課室 CD	教育課	整理コード*	

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	人が集う交流のあるまちづくり	
	中項目	様々な交流の充実	
	小項目	地域間交流国際交流の推進	
関連する個別計画等	0	根拠条例等	韮崎市サッカーのまちづくり推進要項
関連する事業	0		

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	サッカーを重要な文化資源として位置づけ、次世代を担う青少年の健全育成、幼児からお年寄りまで健康に暮らせる社会の構築、国内外の交流など、サッカーを核とした活気溢れるまちづくりを目指す。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	全市民
これまでの改善経過	
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 <input type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他( ) 多様な分野より推進員(13名)を委嘱し「サッカーによる人づくり・まちづくり・競技力向上」を視点に関係団体と協働し事業立案・展開する。
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	市民が本市の特色あるサッカー文化を地域の誇りと感じ、次世代に継承していくとともにサッカー競技を中心とした生涯スポーツ振興を図り、健康で活力あるまちづくりを目指す。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20年度	21年度	22年度
A	事業費 (千円)			7,026
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他			
	一般財源			7,026
B	担当職員数(非常勤   職員 E) (人)			1.0 0.4
C	人件費(平均人件費 × E) (千円)			2,687
D	総事業費(A+C) (千円)			9,713
* 参考	H22)市民1人当りの事業コスト	304 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	599,027 円

注 1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。

注 2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)、22年度(6,719千円)を使用しています。

注 3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			20年度	21年度	22年度
活動指標	推進委員会	回			10
	検討会	回			15
成果指標	サッカー教室開催	回			36
	参加人数	人			1249
	研修事業	回			1
	参加人数	人			54
効率指標	教室参加人数/回数	人			34.7

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 関係団体と協働の中、事業展開を企画実施することは多様な意見を参考に取り組むため。		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない 初年度であるため市民の認識も薄く、意図した成果が達成できなかった部分もあるが、継続性と意見集約を以って充実を図る。		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 市民の認識を深めるための平成 22 年度であり、今後の事業展開を考慮すると効率的であると考え。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する） <input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える） <input type="checkbox"/> 効率化（結果単位あたりのコストを下げる） <input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する） <input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、または廃止する） <input type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性（いつまでに、どういう形で具体化するのか）		
	(1) 中長期的 全市民参加の事業開催 全国高校総体への市内選手出場	(2) 24 年度 少年サッカー教室の継続・拡大 ソフト事業の充実 生涯スポーツ大会の開催 関係団体との連絡協調	(3) 23 年度 少年サッカー教室の継続・拡大 ソフト事業の充実 関係団体との連絡協調
	22 年度の改善計画		
22 年度の改善結果			
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること) 環境整備・啓蒙活動・競技力向上など「行政・競技団体・他団体」との協働が不可欠である。今後において連絡協調を図りたい。			
課長所見	初年度であるため紆余曲折の感は否めないが、推進員の積極的な活動の中、実績を挙げた分野もある。今後も関係団体との協働のもと活力ある「人づくり、まちづくり」を図る。		